

2007年1月22日

いすゞ、ウズベキスタンにおける、小型バス現地生産を開始

いすゞ自動車株式会社（以下いすゞ）は、サマルカンド・オートモビルファクトリー [Samarkand Automobile Factory LLC]（以下SAF）と、ウズベキスタンにおける小型バス現地生産に関する契約を締結し、生産を開始した。ウズベキスタン市場への参入は、日系企業で初めてとなる。



いすゞは、小型トラック（エルフ）のシャーシを伊藤忠商事を通じて SAF に供給し、同社はこれをベースとする小型バスを同社工場にて組み立て、SAF ブランドとしてウズベキスタン国内で販売を開始する。

販売計画は、初年度（2007年）は1,000台/年であるが、2010年には3,000台/年への増加を見込んでおり、将来的にはウズベキスタン国内に加え、中央アジア諸国（カザフスタン、キルギスタン、タジキスタン、トルクメニスタン）への販売も視野に入れている。

いすゞは中期経営計画（'05年4月～'08年3月）において、海外CV事業の強化・拡大を進めており、これまでいすゞオーストラリアの100%子会社化、欧州（ベネルクス、イベリア、ドイツ・オーストリア、マーケティング会社）、アセアン（マレーシア）、アフリカ（南ア）という既存市場での新会社設立、中米（メキシコ）、CIS（ウクライナ、ロシア）、インドという新興国への参入を進めてきた。今回のウズベキスタン参入も、これら拡販施策の一環となる。

ウズベキスタンは人口2,660万人で、世界第二位の綿花生産国。また地下資源にも恵まれ、周辺の中央アジア諸国も含め、今後の経済発展が期待できる市場であり、近年では自国における自動車産業育成に力を入れている。

以上

<参考>SAF 社の概要

会社名	サマルカンド・オートモビルファクトリー (Samarkand Automobile Factory LLC: SAF)
代表者	スリマン・ウラコフ (Suleyman Urakov)
設立日	2006年10月31日
所在地	ウズベキスタン共和国 サマルカンド市
資本金	約27百万米ドル (約32億円)
株主	UZAUTOSANOAT:74%、Asaka bank:26%
主たる業務	商用車の組み立て、販売